

ヒヨコ・ニューサークル (NCM) 便り

2月3日(日) /ニューサークル単独例会
「雪の六甲山地を歩く」に参加して

保久良支部 曾谷 睦

昨年9月にヒヨコ登山会に入会し、初めての冬山登山ということで、非常に楽しみにしていました。事前にLINEでアイゼンの準備を！と言われていたので、初のアイゼン装着も期待していました。1月31日は六甲山頂が雪で白くなっており期待しましたが、天気予報では2月2日の最高気温が16℃となっていましたので、寒さはどうかな？とっていました。

当日は有馬口駅に集合。有馬周辺の滝が凍っているようであれば有馬温泉駅まで乗り継ぎ、計画案の「氷瀑見学→極楽茶屋跡→油こぶしを下山」の予定でしたが気温から考えると氷瀑は無理！との結論で断念。当初予定の有馬口～シュラインロード～アイスロード(又はノースロード)～記念碑台～油こぶしを下山に決定し、有馬口よりTリーダーの先導でスタートしました。10分ほどで下唐櫃山王神社に到着。吉野会長の挨拶と慣れたSさんによる入念な準備体操で体をほぐしました。Sさんによると準備体操より登山が終わった後の柔軟体操が大事とのアドバイスがありました。



きれいな水流の猪ノ鼻滝

準備体操の後、再スタート。途中の猪ノ鼻滝で休憩。吉野会長より、夏場はこの沢の中を歩いて登るのが楽しいよ！・・・との説明があり、夏場の沢登りを一度体験したい気持ちになりま

した。そのあと、徐々に登り坂になってくると登山道に雪が残っており、流石に裏六甲と感じました。



まもなくシュラインロードの本筋へ

シュラインロードには三十三体の観音石像や大日如来などの石仏がありました。昔はこの山道を通る人が、よく野盗や追い剥ぎに襲われて命を落とす人も少なくなかったそうで、これら犠牲者の供養と道中の安全を願い地元の人達によって建立されたそうです。

それから、歩を進めて行くと残雪が増えてきて冬山を感じました。鳥居をくぐり、裏六甲ドライブウェイを横切ると、いよいよ登り坂の連続です。途中1回休憩をとり、行者堂跡地に到着。汗をかいたのでジャケットを脱ぎましたが、気温が低く、風も強くて直ぐに寒くなり、再度ジャケットを着ました。



裏六甲の登山道は素晴らしい冬景色でした！
山頂に近づくと残雪が5cm程度のところも

あり、人が踏んでいない所は、足で踏むと新雪の感触を感じられ嬉しく思いました。

途中、全員（Mさんを除く。Mさん撮影）で写真を撮りました。（Mさん曰く・・・実物が良すぎて写真には参加しない！・・・そうです）。



積雪した裏六甲登山道にて記念の1枚！

12時ジャストに記念碑台に到着し昼食。風が非常に強く気温も低かったので冬山らしさを実感しながら昼食を取りました。吉野会長のバー

ナーによるスープは体が温まり非常に美味しく頂きました。

昼食後、ビジターセンターに入館させて頂き、冬山の寒さから逃れられ、ホッと一息つくことが出来ました。

その後、アイスロードから油こぶし道に入り六甲ケーブル下へ下山。油こぶし道では、険しい下りも体験できました。天気予報通り午後2時頃から小雨が降りましたが、無事下山して楽しい冬山を経験できました。山頂と下界の気温差には、冬山の厳しさも実感できました。また来年には、氷瀑の七曲滝や百間滝等が見学出来ることを楽しみにしたいと思います。

吉野会長、Tリーダー他、諸先輩方にはご一緒頂き感謝致します。ありがとうございました。

以上

天候 晴れ

参加者 23名



新しく生まれ変わった「六甲山ビジターセンター（旧自然保護センター）」にて・・・素敵な笑顔の皆さん！
*素敵なセンターを是非訪れて下さい！通年オープンです。（但し、冬期は10:00～15:00 月曜日休館）

